



あゆみ

No. 172

令和 5年 8月25日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 茶山寮・第二茶山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 施設の旬の話題を「レイザンTOP.I.X」にて更新中です。



『一つの目標に向かって』

施設長 飽田 一夫

今年の夏は全国的に酷暑で、ここ天草もご多分にもれずうだるような毎日が続いています。長期予報によると、九月十月も気温の高い日が続くということで、利用者さんだけでなく職員自身も体調管理をしっかりとしなければなりません。地球温暖化が進むにつれて、日本の四季も崩れていくのではないかと心配です。

さて、利用者さんの体調管理は私達の仕事の中でも最重要事項です。毎日二回の検温(感染症発生時は三回)、排便チェック、月に一度の体重血圧測定に始まり、医者から指示のあった方日々の血圧測定、尿量測定等、バイタルチェックは欠かせません。また、利用者さんと接する時に顔色、機嫌、表情等、普段と違う様子かどうか察知することも大切なことです。時には事務や給食から、利用者さんの様子がおかしいという情報が上がったりもします。特に高齢になられ身体機能が落ちてこられた利用者さんに対しては、都度支援の内容を変更していくこと

が必要になってきます。それはその人の生活全般にわたってのことになるので、支援員だけでできることではありません。例えば体重が減少してきた利用者さんに対して食事を増やしたいと給食からの提案があったとします。しかし介助をしている支援側から、一度に沢山は食べられないという意見が出ます。また医務から、食事時間が長くなると誤嚥のリスクが上がると言われます。では食事内容を見直し高カロリーの補助食品をつけて全量を減らしましょう、等と話ぐまとまります。また、月二回の訪問歯科で口腔内の状態を評価していただき、それを医務から支援に下ろして口腔ケアの参考にしてもらっています。このように、それぞれのセクションが自分の専門を活かしながら一つの目標に向かって力を合わせるのですが、今年度の目標である「今できることを共に」ということだと考えています。情報を共有し忌憚ない意見を出し合って、さらにいい支援を目指す。これに尽きると思います。

サービスの現場より



『今できることを共に』
荅山寮支援課長 吉鶴 かおり

今年度、支援課長に就任し五ヶ月が過ぎようとしています。昨年度までは支援の現場で利用者の方の支援にあたっていましたが、今年度は少し離れて利用者の方の状態把握をしたり、時には直接支援を行ったりしていく事で、今必要な事・今対応を検討しなければいけないことを協議し、支援に生かす事が出来るように心がけています。利用者の方は最高齢の方で八九歳、若い方で十八歳の方がおられ、又ベッド上で過ごされる方、元氣よく走り回っている方と個々で違います。それに伴いその方達への関わり方、支援の取り組み方も変わってきます。

支援ではケア会議にて検討し統一した支援が出来る様に話し合いを行い書面に残し、当日参加できない支援員にも把握してもらえようとしています。問題行動のある方への支援では、色々な意見が出てくる中で「先ずはこの支援を試みよう。実施して評価、再度検討しよう」という取り組みを行う事で支援員の意識にも変化が見られます。六十名の利用者の方がそれぞれ違う様に、寄り添い関わり方も違ってきます。私達支援員は「今できること」を見逃さない様に、利用者の方・職員と「共に」色々な事に挑戦して楽しみながら生活をしていきたいと思えます。



『担当利用者さんへの
取り組み』
荅山寮支援員 中本 慎也

私が担当させて頂いているSさんは、五月に荅山寮へ入所された方です。まだ十九歳と若い方で活発に体を動かされ、職員の手伝いや活動班、作業班の一員として日々を過ごされています。その反面、先の見通しが立たない事をすぐ気にされたり、急な予定変更などから、不穏状態となられることもあります。

取り組みとして、行事、活動前の日程説明を必ず行う事、変更点や分からない事は都度丁寧な説明をし、理解をして頂く様コミュニケーションを取っています。理解を得る事が入所当初に見られた不穏状態や拒薬、食事の拒否なども無くなりました。又、個別支援計画では、本人のニーズやストレスを把握、理解し楽しみプラン（面会、外出、買い物、調整）等を提案をしています。七月にはSさんからマクドナルドに行きたいと要望があり、外出を計画し出かけてきました。少しの間ではありましたが、Sさんのニーズに合わせたのではと思います。Sさんは今後、グループホームでの生活を希望されています。その希望が叶う様に、より良い支援を提供していきたいと思えます。



『担当利用者さんへの
取り組み』
第二荅山寮支援主任 田中 正行

私が現在お手伝いをさせて頂いておりますSさん。第二荅山寮へ来られて、やがて二年が経ちます。若い頃は天草は勿論のこと、神戸や大阪、福岡で海運業や地下鉄工事など、色々な仕事に携わって来られました。その中で様々な知識や教養を身に付けて来られたこともあり、利用者の皆さんからの信頼も厚く、兄貴的存在であります。気付けば七九歳と高齢となられ、少しずつ出来なくなってきたことが多くなったように感じます。ひよつとしたら、ご本人の中でも気付いていらつしやるのかも知れませんが「認めたくはない」という気持ちが強くなってしまい、何を話しても全く口を利いて頂けない時もあります。出来る限りご本人の要望には応えたいと、故郷までのドライブや定期的にご本人と外食の計画を立て、大好きな魚料理を食べに出掛け信頼関係を深めることにも努めております。

本来であれば、定年を過ぎ残りの人生をゆつくりと過ごされても良いはずのお歳です。素晴らしいセカンドライフを送って頂けるよう、これからもしつかり寄り添って参ります。



『施設内研修会に参加して』

第三者委員 平野 洋介

梅雨の晴れ間がのぞく六月二

七日、荅山寮第二回人權研修会がありました。今回の研修には第三者委員も三人が参加いたしました。尾道幸子様による「元気に心豊かな生活を送るために」を演題とする講演と質疑が行われました。東京や熊本で長く福祉に関わってこられたご経験からの講話で、多くのことを学ぶことができました。特に心に残った内容は、現場で働く人たちの仲間づくりの大切さでした。一人でできることには限りがあり、人が増えることでできることがどんどん増えていくということです。尾道先生のお話を聴きながらメモした内容の一部を書き出してみます。

いろいろな課題や問題にみんなで対応できる集団、支え合える集団があると働きやすい現場になるし、利用者にとっても快適な環境になるということ。人はミスをすることもあるし、疲れてしまうこともある。ミスを補充し合って協力し合える。ミスを最小限に止めることができる。「手伝って」と言える集団、言わなくてもしてくれる集団。みんな得手をつなぐことが大事。内容盛りだくさんのお話がありました。一部とさせていただきます。みんなが一つの目標に向かって取り組むことができる組織にな

るためには、一緒にいる仲間と共に力を合わせることであるとおっしゃいました。こういった研修を実のあるものにするため

には、参加者の意識の高さが重要です。今回の研修会に参加された職員の皆様は、熱心を受講され多くの質問も出されました。実際に自らの職務に生かしたいとの熱い想いから、時間が足りない程の質問がありました。人材育成、よりよい職場風土づくりが着実に進んでいると実感しました。職員の皆様の質問に講師の先生がお答えになつたお話の中で、次の言葉が強く心に残りました。仲間づくりで気を付けていること等は何かという質問で「ちよこつと言葉を付け加えて言う」「あの一言で救われるという言葉」また、一つできるとそれが「突破口になる」そして、「人は変わる！」（変わる事ができる）。最後に、「教えてもらっていないことはわからない、できない」

研修会の実施には多くの課題があるともいわれますが、職務遂行に生かしたいという意欲の高さによって、その後のよりよい変容を生んでいくのだと感じました。このような貴重な研修の機会をいただいたことに感謝いたします。



『口腔内・鼻腔内 喀痰吸引研修』

荅山寮支援副主任 池田 隼人

朝日野総合病院にて喀痰吸引実施講習を受講しました。喀痰吸引を行うにあたり確認しなければならぬ事が大きく分けて三二項目もあり驚きました。医師からの指示書を受けて機械の確認、患者様の体調を見て喀痰吸引の説明を行い同意を頂きます。

喀痰吸引を行う姿勢、環境を整え機械の作動の確認を行い、指示書通りに実施してどのような痰がどれだけ取れたか、吸引によって出血していないか等を確認して報告を行います。大まかに、このような流れでありました。実際に行って見た所、基本的には施設で支援を行っている事と変わりがなく、文章で三二項目もあると言われると大丈夫かなと不安になるが、行っていることは変らないんだなと感じました。しかし経験のない喀痰吸引を実際に患者様に行うことはとても緊張しました。十回の実施が必要で最後の三回は連続で合格点をとらなければいけないというプレッシャーは計り知れないものでしたが、問題なく合格を頂きました。

日帰り旅行

苓山寮

規制緩和に伴い日帰り旅行を開催する事が出来ました。久しぶりの旅行に私達職員の方が緊張している部分もありましたが、参加された皆さんの楽しんでいる笑顔、笑い声に緊張をほぐして頂き、私達も楽しむ事が出来ました。

外で食べるご飯は、いつも食べている食事より、特別に美味しかったのではないかと思います。ロングドライブにも出掛けることが出来、皆さんコロナ禍の鬱憤を少し吐き出すことが出来たのではないかと思います。



夏の夕暮れ、涼をとりながら、ご馳走を楽しみました。

(^_^)V

(^_^)V



今回はまだまだ新型コロナウイルス感染症の余波もありましたので施設内で喜んでもらえるように第二苓山寮で計画し実施となりました。メニューは「たこ焼き」「枝豆」「お菓子の盛り合わせ」「アイススクリーム」を準備し、皆さん思い思いの飲み物で「カンパニー！」と大盛り上がりでした。

夕涼み会

七月二十九日

ワークキャンプ

8月22日、23日

二日間で稜南中学校から計14名の生徒さんが参加され活動や掃除、歩行など利用者の皆さんと一緒に過ごしていただきました。最初は不安や緊張があった様でしたが、利用者の皆さんが笑顔で話し掛けて下さって安心することが出来たようで、徐々にコミュニケーションを取ることが出来ていました。短い時間ではありましたが、学生の皆さんにとってはこれからの人生の中で必ずプラスになる貴重な時間になったと思います。これから受験、進学、就職と控えている皆さんの選択肢の中に福祉が加わったら嬉しいです。二日間お疲れさまでした。



釣りサークル

コロナの影響で前年度まで中々実施出来ていなかった活動を月に一回の頻度で再開しました。メンバーは釣りが大好きな第二荅山寮とグループホームの利用者八名です。ご自分の釣竿を持っておられ、オリジナルの仕掛けで釣果を伸ばしている方もいらつしやいます。通詞島や鬼池港、七月には牛深まで釣りに行きました。大漁とはいきませんでした。アジ、がらがぶ等釣れ、「また釣れた」と喜びの声が聞かれ賑やかな時間となりました。今後も事故なく楽しく活動していけたらと思います。



啓明会職員互助会活動

啓明会職員互助会では地域貢献の一環として、例年本町地区の清掃活動に取り組んでいます。清掃箇所は地域の皆様へご希望をお尋ねし決めていきます。本年度は七月に下河内公民館裏の除草作業及び竹の伐採他、十五社宮周辺の除草作業を実施致しました。互助会会員の職員を始め、沢山の職員の方々に参加頂き、予定していた作業が無事に終了致しました。ご協力ありがとうございました。

今後も地域の皆様に喜んで頂ける様、清掃活動を続けていきたいと思えます。



日常生活の風景



後藤 潤子さん

かれこれ一年半担当をさせて頂いていますが、いつも癒されています。機嫌が良くない時は手を差し伸べても首を振って嫌のポーズを取られますが、ニコニコしておられる時に手を差し伸べると担当の手にそっと手を差し伸べて目を覗き込んだりされます。言葉を発する事は困難な方ですが、ご自分なりに今の状況を表す事には長けておられる様です。甘いものが大好きでオーブンカフェの時はとても美味しそうに食べておられるのが印象的です。今後も後藤さんの良い所を担当なりに見つけていきたいと思えます。



椎原 隆司さん

これまで、養鶏場や繊維工場、畜産業等多くの就労経験を経た後、第二荅山寮ではブロック作業や農耕作業にも参加されていたそうです。現在は、第二荅山寮の消毒作業担当であったり、グループホームでは畑の草引きを頑張っておられます。又、ちり紙折りが大好きで活動時には積極的に行ってください。休みの日は居室でテレビを観たり、音楽を聴いたりして過ごされています。今後も椎原さんが笑顔で過ごせるように支援していきたいと思えます。

〈新利用者紹介〉



上田 到さん (荅山寮)

八月二四日に入所されました。これから一緒に楽しく生活していきましょう。

〈行事予定〉

九月

六日 本町消防団合同訓練

十三日 敬老会

十八日 敬老の日

二三日 秋分の日

二五日 チャレンジσ0

十月

三日 荅秋祭

八日 熊本県親善スポーツ大会

九日 スポーツの日

十六日 チャレンジσ0



〈編集後記〉

夏が終わり、日中はまだまだ暑い日が続いていますが、朝夕は涼しくなり過ごしやすくなって来ました。コロナウイルスが五類となり、色々な制限が解け、以前の生活を少しずつ取り戻して来ています。合同での行事や個別での外出、一泊旅行など、楽しみプランが増え、利用者の皆さんからのニーズに答える事が出来る様になってきているところです。しかし、まだまだコロナウイルスは身近に潜んでおり、油断出来ない状況が続いています。今後も細心の注意を払い、以前のように利用者、職員共に楽しみ、笑顔を共感できる生活を取り戻せるように努めていきたいと思えます。

